

## 活動助成（2010 年度募集）活動実績報告書

団体名	大芝連合運営協議会防災部会
活動テーマ	大芝は、安心 安全 守るぞ わがまち・みんなのいのち



昨年3月の東日本大震災の未曾有の被害状況を目の当たりにし、近未来に予想されている東海・東南海・南海地震の3連動の発生による被害状況を考えた場合、想像を絶するものがあります。また、大芝校区は、昭和36年の第二室戸台風以降約50年の間自然災害の被災がないため、ややもすると災害に対する意識が希薄になりがちかも知れません。行政等の公助による救援は、被災直後の数日後にしか期待できないと思われますので、被災直後の地域の救援救済については、地域防災活動による活動成果にかかってくるものと思います。

地域防災活動として、毎年2月に大阪府、消防署、警察署、地域医療機関等の協力により約500名以上の地域住民の方々が参加する冬季防災訓練を実施し、防災意識の喚起を促しています。大勢の方々の参加による大規模な訓練が定着してきているものと思います。8月には、小学生を対象とした親子で参加する子供向け防災講座（夏季防災訓練）を実施し、防災の話や体育館でのインフラ災害の体験等を通して、将来の防災リーダーの育成にも地域をあげて取り組んでいます。また、地区公民館では、地域防災に精通した講師を招き、地域の各組織の役員の方々や一般住民の方々を対象とした地域防災講座を開催しています。急速に少子高齢化が進む中、災害時に援護が必要とされる高齢者や障害者等の災害弱者の安否情報登録や安否情報確認についてもPRしています。

大芝校区に在住する約2万人の安心と安全のため、大震災から命と町を守り災害リスクの軽減を図ることは至極至難なテーマになりますが、地域防災活動の重要性を認識し、この活動を継続し地域における隣保協同の精神の普及促進を図る努力を常に怠ってはならないと痛感しております。